



触るグリフ 利用方法

サワルグリフ代表
言語聴覚士 宮崎 圭佑



触るグリフとは？



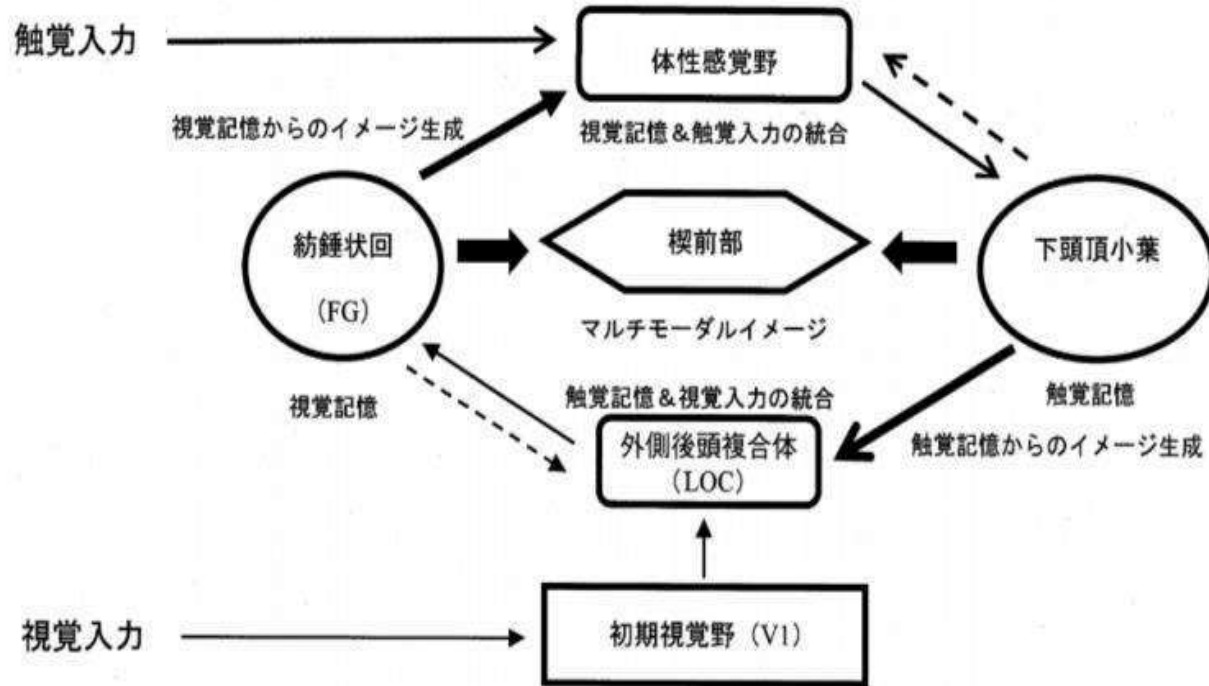
「見ながら触れる」触読学習により、文字形状、綴りの記憶を促す『触読学習プログラム』

文字のカタチから、綴りのパターンへと段階的かつ系統的に学ぶ。

触読学習で形成した文字や綴りの記憶イメージを利用することで、**読みや文字の想起の改善を目指す。**



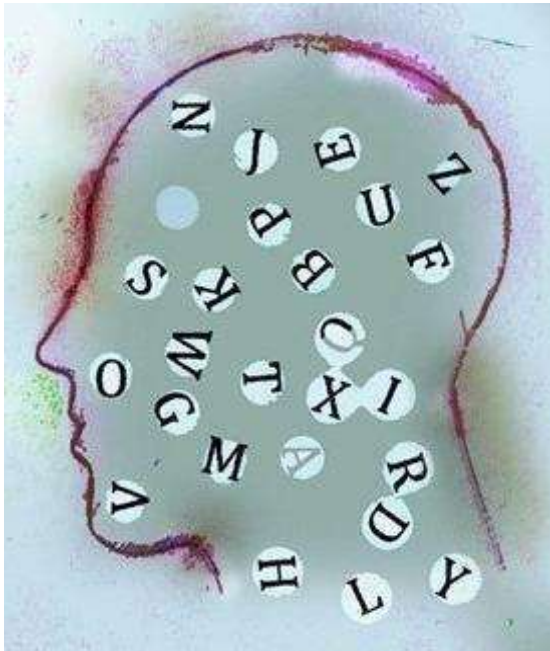
触るグリフの原理



Brain function mechanism of object recognition in 3D shape (Nishino, 2008)



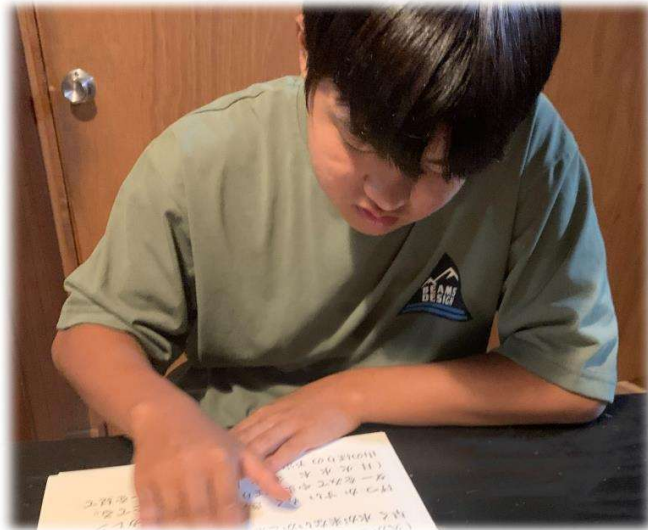
文字の「カタチ」と「綴り」の記憶イメージを形成する



- 仮名や基礎漢字の「カタチ」の記憶イメージが形成される。
- 単語としての「綴り」の記憶イメージが形成される。
- 思い出して書く時に、**文字の「カタチ」の記憶を想起に利用できる。**
- 視て読む時に、**「綴り」の記憶と照合することができる。**



触るグリフ 利用対象者 — 読み書きが苦手な方



■ 文章の読みが苦手

- 逐次読みが残る
- スラスラ読めない
- 読み間違いが多い
- 読むと疲れる

■ 文字が覚えられない

- カタカナや漢字が覚えられない
- 覚えてもすぐに忘れる

■ 文字の書字が苦手

- 文字を書くと崩れる



「カタチ」から「綴り」へ。段階的に学習を行う

基本的な仮名(平仮名, カタカナ)の【**カタチ**】を覚える



基本的な仮名单語の【**綴りパターン**】を覚える



短文の中で仮名と漢字の【**綴りパターン**】を覚える



基礎漢字の【**カタチと構造**】を1文字ずつ覚える



標準版シート（8週間）

①最初の2週間

仮名シートを
「視ながら触れて」
音読する

ま	は	な	た	さ	か	あ
み	ひ	に	ち	し	き	い
む	ふ	ぬ	ま	ハ	ナ	タ
め	へ	ね	ミ	ヒ	ニ	チ
も	ほ	の	ム	フ	ヌ	ツ
			メ	ヘ	ネ	テ
			モ	ホ	ノ	ト
					ソ	コ
						オ

②次の2週間

横・縦短文シートを
「視ながら触れて」
音読する

あおい まる に さわって から あかい しか
く に さわって ください。(青い丸に さわ
って から 赤い 四角に さわって ください)
くろい しかく の うえに あかい まる を お
いて ください(黒い 四角の 上に 赤い丸を
おいて ください)

④最後の2週間

仮名・縦横短文・漢字シートを、1日おきに
1セットずつ、順番に「視ながら触れて」
音読する

③次の2週間

漢字シートを
「視ながら触れて」
音読する

一	右	兩	円	王	音	下	火
花	貝	学	氣	九	休	玉	金
空	月	犬	見	五	口	校	左
三	山	子	四	糸	字	耳	七



小学1年版シート（8週間）

①最初の2週間

平仮名・カタカナシートを
「視ながら触れて」
音読する

ま	は	な	た	さ	か	あ
み	ひ	に	ち	し	き	い
む	ふ	ま	は	な	た	さ
め	へ	か	あ	ま	は	な
も	ほ	に	ち	し	き	い
		ム	フ	ヌ	ツ	ス
		ク	ウ	メ	ヘ	ネ
		テ	セ	ケ	エ	モ
		ホ	ノ	ト	ソ	コ
						オ

②次の2週間

短文・数字シートを
「視ながら触れて」
音読する

あおい まる に さわって から あかい しか
く に さわって ください。(青い丸にさわ
って から 赤い 四角にさわって ください)
くるい しかくの うえに あかい まるを お
いて ください(黒い 四角の 上に 赤い丸を
おいて ください)

3 ●●●
4 ●●●●
5 ●●●●●
6 ●●●●●●
7 ●●●●●●●
8 ●●●●●●●●
9 ●●●●●●●●●
10 ●●●●●●●●●●

④最後の2週間

仮名・縦横短文・漢字シートを、1日おきに
1セットずつ、順番に「視ながら触れて」
音読する

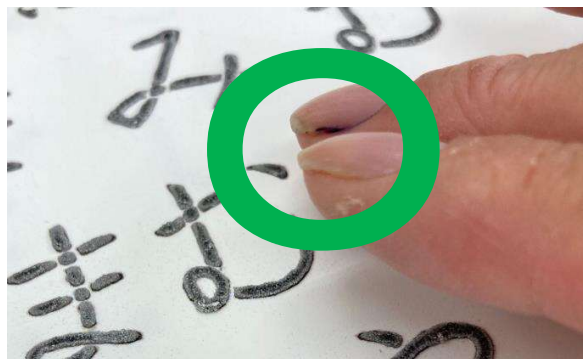
③次の2週間

基礎漢字シートを
「視ながら触れて」
音読する

一	右	雨	円	王	音	下	火
花	貝	学	気	九	休	玉	金
空	月	犬	見	五	口	校	左
三	山	子	四	糸	字	耳	七



触るグリフを「視ながら触れて」音読する方法



文字の画線を指先でなぞるのではなく、文字を「指面」で触れて文字全体の形を確かめながら読む

■ 触読版シートの触れ方

文字の画線を指先でなぞるのではなく、文字を「指面」で触れて文字全体の形を**確かめながら読む**。

■ 触読版シートの読み方

「単語」は逐次読みではなく、**必ず「ひとまとめ」に音読する**。
(例：「ま、む、し」⇒「まむし」)

文字や綴りの形状を読み取り、自分のペースで音読していく。



触るグリフの実施で重要なこと

■ 最初から行う。途中から行わない

様々な文字と綴りの形状パターンを記憶し、読み書きに利用できる記憶ネットワークを作ることが重要。8週間で終わるので一通り行ってほしい。

(ただし、モチベーションが湧かない場合は途中から実施してもよい)

■ モチベーションの問題の解決策

児童のやる気を鼓舞するために、報酬(おやつ、商品)などで誘導してもよい。

触覚記憶ネットワークは動機づけの種類や方法に関係なく形成される。

(もちろん、本人の興味関心が高ければ理想的)



必ず「実施前」と「実施後」に読み書きの評価を行う



44歳 Dyslexia 男性音読 本人承諾済み撮影使用)

**触るグリフ「実施前」と「実施後」(2週間毎)に、
評価シートの文章音読や読み上げ書字を比較する。**

- 音読の様子はスマホで「動画撮影」し、読み上げ書字の様子は「カメラ撮影」保存しておく。
- スムーズに読めるようになったか？
書けなかった文字が書けるようになったか？
…などを比較する。



定期評価（読み）

■ 平仮名・カタカナ・漢字の短文音読評価

音読時間の短縮、読み間違いの減少、逐次読み、などの変化を測る。

✓ **客観的評価**

逐次読み改善、読み間違い減少、文章を読む時間の変化

✓ **主観的評価**

易疲労性の改善、読みにくさの改善、文章への苦手意識の軽減

評価方法

訓練開始前(初回)から2週間ごとにビデオ撮影し、評価シート(読み)の音読の様子を記録する。
2週間毎に音読状況を見比べ、客観的・主観的に変化を観察する。



定期評価（書字）

■ 仮名、単語、漢字の読み上げ⇒書き取り評価

実施前から2週間毎に、ひらがな、カタカナ、基礎漢字の評価シートを「保護者」が読み上げ、書いてもらう。書字はスマホ(カメラ)で撮影し保存しておく。

✓ 触るグリフ「実施前」に…

子供が「書けそうにない文字・単語・漢字」を50～100個ほど（※）選び、読み上げる。
文字や単語を子供に書いてもらう。

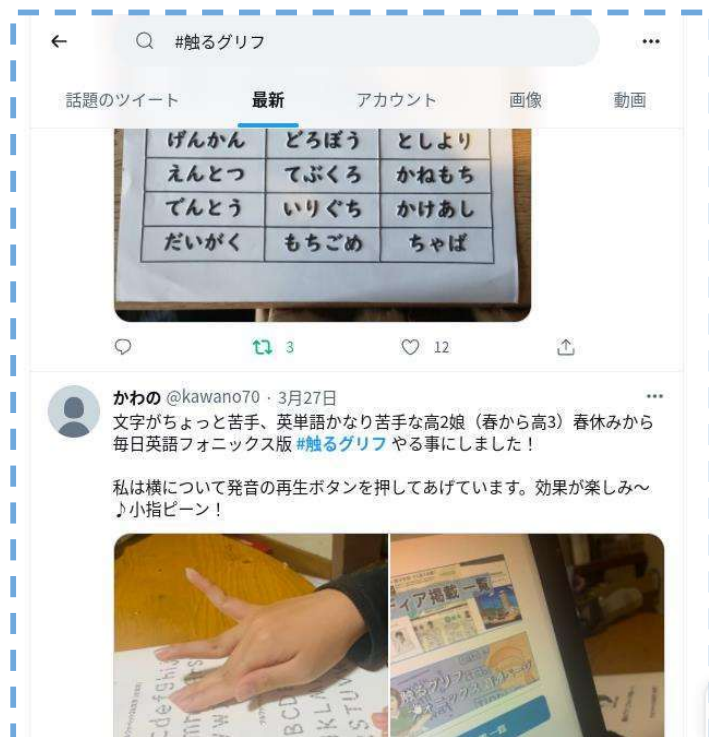
✓ 2週間毎に…

「触るグリフ」実施前に書けなかった仮名、単語、漢字が書けるようになったか？を確かめる。

※評価シートの全ての文字・単語を書くのは負担になるため、「書けそうにない文字・単語・漢字」は50～100個ほど選んで実施すると良い。



効果が見られた場合



<サワルグリフ代表 宮崎からのお願い>

触るグリフは、広告宣伝費を全く使用しておりません。

実際に使ってみて、効果があったり、取り組む様子など、SNSを介して口コミで広がっています。

もし、よろしければ「**#触るグリフ**」で使用状況や効果の報告をツイッター、インスタで上げてくれたら嬉しいです。